

Hola México! by JDOX

Hola México! はメキシコをこよなく愛する輸入商社ジェイドックスが
お届けするコラムです。

January
2026
Vol. 10



今年の目標は…

2026 年が始まりました！一年の計は元旦にあり。新年から何か新しいチャレンジをと思うのは日本でもメキシコでも同じこと。さて、去年を振り返って直したいところは…「なんでもアオリータで済まさないこと」でしょうか。

「Ahorita (アオリータ)」とは、文法的には「今」を指す ahora (アオラ) という単語に縮小辞 -ita がついたものです。が、決して「今」を意味するのではなく「今より後」のことを指すのが一般的です。

メキシコ人の使うアオリータとは？



例えば、私がメキシコ人夫に「来月の予定、カレンダーに書いておいてね」と頼むとします。その際” OK, ahorita lo escribo” (OK, アオリータ書くね) といわれたからと言って、安心するわけにはいきません。

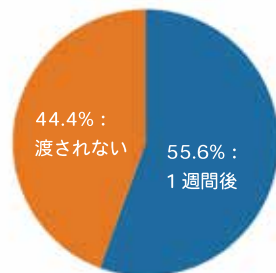
実際のところは「(今はあんまりやる気がないけど) 後で時間ができたらやる

わ」くらいのニュアンスで受けていたほうが間違いありません。

このように、「今」現在より後だけれど、5 分後なのか 1 時間後なのか 1 日後なのかわからない。それがアオリータの特徴です。

さらにこのアオリータは、実際には行われない行動に対しても使われるのがすごいところです。それゆえに、メキシコに住む外国人を最も悩ませるワードだと言われています。

【アオリータ渡すね、と言われて想像するアオリータはいつ？】



※過去に SNS で見かけたジョークです。

実際にはやらないことに関してアオリータが使われる場合、それは決して相手に嘘をつこう、という気持ちがあったわけではないのです。「ノーときっぱり言うのは気が引けるからなあ」というメキシコ人の優しさ（という好意的に取りすぎかもしれませんが）がベースにあると考えられます。

例えば、商品を勧められたとき。全然興味はないけれど「ノーグラシヤス！」というと角がたつ。そんな時、便利に使われるのがアオリータ。全面的に否定はしないけれど、暗にいらないよ、とオブラートに包むというやり方です。

メキシコ移住当初、とても印象的な経験をしました。取材に行く道すがら、興味を引くレストランがあった時のことで

す。まだ時間に余裕もあるし、ちょっと覗いてみるか…と思い、お店の人に話を聞くことに。ふむふむ、とメモを取りつつ「アオリータ戻ってきます。そこで料理の撮影させてください」と言い残して取材先へ向かいました。

取材が終わってレストランに引き返してみると、なんと改装工事を始めているじゃありませんか。お店の人に「改装するならさっきそういつてくれればよかったのに！」と文句を言うと「え？ほんとに戻ってきたの？」と返されて、こちらが「え？」となりました。お店の人は、私がアオリータと言ったので「ああ、興味がなかったんだな」と判断したということなのです。

メキシコに住み始めた時こそ「アオリータ難しい…」と思っていた私ですが、気が付いたら率先して使うようになってしまいました。今年こそアオリータの沼から出られるのでしょうか？

アオリータと言わずに、すぐに試したいジェイドックスのおススメ！

1886 年創業の蒸留所が手掛ける 〈サンマティアス・グランレゼルバ〉



無添加とは思えないほどの、まったりとした甘さが特徴の熟成テキーラ。チョコレートやナッツとの相性も◎ボックス付きで、バレンタインのプレゼントにもぴったり！



発行元：ジェイドックス株式会社

Tel: 080-1386-6655

Email: import@j-dox.com

※本紙に掲載されているテキストなどの無断掲載、複製、転載を禁じます。